



SWIFT、アジア太平洋地域における証券市場インフラの クロスボーダー連携に関する報告書を発行

シンガポール、2017年12月4日 - 国際銀行間通信協会 (SWIFT) は、証券市場インフラのクロスボーダー連携に関する報告書を発行したことをお知らせします。この報告書では、市場インフラ・クロスボーダー連携プロジェクトの成功事例におけるSWIFTの役割について、またこのような取り組みにおいて重要となる成功要因についてご紹介しています。

共有プラットフォームやパートナーシップ、事業提携を通じてグローバル市場を一体化させる取り組みへの機運がますます高まりつつあります。それと並行して、証券市場インフラの戦略的なクロスボーダー連携も増加しつつあります。この流れを牽引しているのは、証券市場インフラの運用技術・システムの更改、および提供する事業・サービスの拡大といった動きです。さらに、国内・域内連携の取り組み、新規制への準拠、そして国際的ベストプラクティスの採用も、市場インフラ連携の拡大を促しています。

報告書では、このような取り組みを実現させるための成功要因を、以下を中心にご紹介しています。

- 組織及び計画の透明化
- 堅牢かつ費用対効果の高い技術的ソリューションの採用
- 市場慣行基準の統一
- 協調的なユーザーグループの構築及びコミュニティとの緊密な連携

SWIFT APAC Securities & FX Markets代表であるAlexandre Kechは次のように述べています。「SWIFTは引き続き、アジア太平洋地域の金融業界にとって不可欠の役割を果たし、域内の持続的成長に向けた経済統合促進に励んでいきます。SWIFTは協同組合として、世界中の市場インフラと緊密に連携をとり、コミュニティ主導の施策やプログラムを通じて世界の金融取引フローを一層活性化していく所存です」

報告書は[こちら](#)からダウンロードできます。

-####-

国際銀行間通信協会 (SWIFT) について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、金融犯罪コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT を活用することで、標準化された安全、かつ確実な金融メッセージングの実現が可能です。SWIFT は信頼できるサービスプロバイダーとして、国内外の円滑な金融取引を促進し、グローバルな商取引をサポートします。コスト削減、リスク軽減、業務効率化実現の手法、最高品質の業務を絶え間なく追求しています。SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは www.swift.com をご覧いただくか [Twitter:@swiftcommunity](https://twitter.com/swiftcommunity) および [LinkedIn:SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

お問い合わせ:

Xavier Duval

Xavier.Duval@swift.com